

平成29年度第6回安城市地域ケア推進会議

日時 平成29年9月21日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 副会長あいさつ

2 議題

- (1) 保健福祉部会検討内容の報告(資料1)
- (2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料2)
訪問リハネット部会
グループホーム部会
薬剤師部会・ケアマネット部会
- (3) 在宅医療ガイドブックについて(資料3)

連絡事項

【認知症を知る講演会】

日時：9月30日(土) 午後2時から

場所：安城市文化センター マツバホール

○寸劇で知ろう認知症 劇団サルビー見守り隊

○講演「認知症とともに豊かに生きるために」

講師 武地 一 先生(学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学医学部認知症・高齢診療科教授)

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

①テーマ：地域と事業所(施設)との関係づくりについて

日時：平成29年9月27日(水) 午後2時から

場所：市民会館大会議室

アドバイザー：清水 隆幸 氏(八千代リハビリデイサービス彩管理者)

発表者：渥美 智久 氏(デイサービスオレンジ) 他2名

②テーマ：在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法

日時：10月14日(土) 午後2時から

場所：八千代病院 2階 大会議室

座長：岡本雅彦氏(アイムクリニック・安城) / 木村恵美氏(ケアポート八千代)

③テーマ：口腔ケア研修会(事前申込み制)

日時：平成29年10月19日(木) 午後3時30分から

場所：総合福祉センター 1階 会議室3

講師：板倉 直美 氏、中根 尚美 氏(公益財団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)



次回 平成29年10月19日(木) 午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室

平成 29 年度

安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書

部会名（保健福祉部会）

| | |
|--------------|--|
| 検討テーマ | サロン・通いの場の余暇活動の充実のためのレクリエーションの提案等、介護職が協力できそうなことを整理して、デイネットに情報提供する。 |
| 検討内容 | <p>地域の中にあるサロン活動を推進する立場の専門職として、生活支援コーディネーターから、要望として以下の意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none">・サロン内でのレクや講話など講師（職員）の無料派遣。・デイの休業日に施設をサロンなどの会場として貸してもらおう。・デイ主催の地域開放型サロン。・福祉委員会等からアドバイザーや福祉制度の説明などの依頼があれば協力してほしい。・施設見学等への協力。・サロンの会場での話し相手（特に認知症傾向にある人）・送迎車両の貸し出し（運転手スタッフ含む）・デイ利用者が外出レクリエーションとしてサロンに参加する・サロン等での感染症予防という視点で、デイサービス等施設で行っている器具等の消毒方法や消毒液の種類、感染症を予防するための対策（正しいうがいや手洗い、感染症が疑われる方のサロンの受入の可否など）について指導をして欲しい。・備品の貸出し（レクリエーションのDVDやレシピ集など） |
| 結果・方向性 など | 地域でサロンを開催している町内福祉委員会やボランティアグループと地元のデイサービス事業所を生活支援コーディネーターがコーディネートしていくことで、今あるサロンを、より魅力的な居場所としていくことができ、また運営者の負担を減らすなど、活動の継続が期待できる。また、事業所としても地域住民に周知してもらえ るいい機会となり、地域に密着した事業を展開することができるようになる。 |
| 検討回数・方法 | 会議 1回 参加人数 延べ 13人 電話 FAX メール その他（ ） |
| 備考 | |

出合いはここから！見て・知って・つながろう！

平成29年度 地域福祉マッチング交流会 & サロン活動博覧会

入退場自由！



平成30年1月21日（日）

午後1時30分～4時

総合福祉センター

2階多目的ホール^{ほか}

安城市赤松町大北78番地1

（県立安城高校東側）



「地域福祉マッチング交流会」とは、安城市内で活躍中のボランティア・市民活動団体と、市内の福祉施設やコミュニティを築くために様々な事業を展開している町内会、福祉委員会などが出会う場です。どの団体も、「自分たちの住む地域を良くしたい」「自分ができることを社会に活かしたい」という思いで活動しています。その団体や活動する個人が出会ったとき、新しい活動につながる可能性がどんどん広がります。

「サロン活動博覧会」は、サロン活動者やこれから活動を始める方は必見です！実際に小物づくりを体験したり、活動者同士が交流することで、運営のアイデアやモノづくりのヒントが得られます。

A
♥
お招きしたくなる達人たちが
いろいろな技を
披露



2
♠
カフェコーナーで
ほっと一息！
カフェサロン
運営の参考にも



3
♦
地域サロン活動
の小物づくり
体験で新しい
ネタ発見



4
♣
サロン紹介
パネルで
市内の特徴ある
サロンをご紹介



5
♥
新しい出合いを
応援！
人や団体を
コーディネート



【問い合わせ先：安城市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 ☎(0566) 77-7889】

主催：安城市社会福祉協議会 後援：安城市

ウーさま

わたがし・お抹茶・
だんごにお弁当も
あるよ♪



あいちゃん

たくさんの体験コーナー



忘れられない
体験を♪

多目的ホールイベント
～笑って健康、幸せ広場～

おみやげも
あるかも **健康〇×クイズ!!**

ちんどんやさんやダンスも見られる。

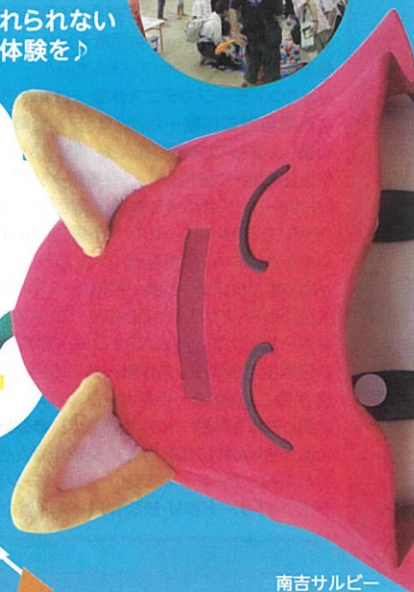
落語



落語
[桂 珍念]



そっくり歌まね
[しんどう幹司]



南吉サルビー

みんなで創ろうふくしのまち

第34回

安城市 福祉まつり

2017.10/1(日) 午前9:00~午後4:00

安城市総合福祉センター・安城市社会福祉会館



バザーで掘り出し物を見つけよう!!



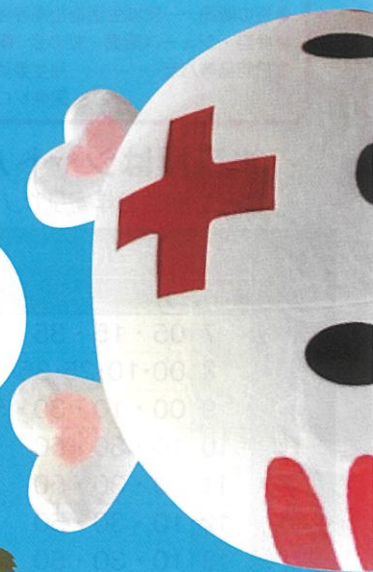
総合福祉センター 2F
多目的ホールバザー

新バザー
会場



社会福祉会館 3F会議室
民生児童委員バザー

- バザーは屋外と総合福祉センター2F多目的ホールと社会福祉会館3F会議室で実施します。
- 社会福祉会館3F会議室のバザーでは障がいのある人が安心してお買いものができるように9:00~9:30の間、優先販売の時間を設けます。
- すべてのバザーに整理券はありません。一般バザーは全ての会場で9:30開場します。



ハートラちゃん



主催：第34回安城市福祉まつり実行委員会
後援：安城市・安城市教育委員会・
安城市社会福祉協議会

バルーン
アート



ハートン

8月24日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

資料2

テーマ: 地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視したリハビリテーション (訪問リハネット部会)

講師: 竹田 徳則氏(星城大学リハビリテーション学部教授)

※研修会の参加者 121名 アンケート回収 110名 (回収率 90.9%)

1. 職種

| 職種No | 職種 | 人数 |
|------|---------|-----|
| 1 | 医師 | 4 |
| 2 | 歯科医師 | 0 |
| 3 | 薬剤師 | 0 |
| 4 | 看護師 | 17 |
| 5 | 保健師 | 1 |
| 6 | 理学療法士 | 32 |
| 7 | 作業療法士 | 15 |
| 8 | 言語聴覚士 | 2 |
| 9 | 栄養士 | 0 |
| 10 | 歯科衛生士 | 0 |
| 11 | MSW | 0 |
| 12 | ケアマネジャー | 16 |
| 13 | 社会福祉士 | 8 |
| 14 | 介護福祉士 | 6 |
| 15 | ヘルパー | 2 |
| 16 | その他 | 7 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 110 |

2. 所属

| 所属No | 所属 | 人数 |
|------|------------|-----|
| 1 | 病院 | 31 |
| 2 | 診療所 | 15 |
| 3 | 薬局 | 0 |
| 4 | 訪問看護ステーション | 11 |
| 5 | 老人保健施設 | 9 |
| 6 | 特別養護老人ホーム | 1 |
| 7 | 有料老人ホーム等 | 1 |
| 8 | 居宅介護支援事業所 | 12 |
| 9 | 地域包括支援センター | 10 |
| 10 | 介護サービス事業者等 | 8 |
| 11 | | 0 |
| 12 | その他 | 12 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 110 |

3. 研修の反応

| (1) 視点が広がった | 人数 | |
|-------------|-----|-----|
| 1 | はい | 109 |
| 2 | いいえ | 1 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 110 |

| (3) 満足度 | 人数 | |
|---------|---------|-----|
| 1 | 満足 | 61 |
| 2 | まあ満足 | 45 |
| 3 | どちらでもない | 4 |
| 4 | やや不満 | 0 |
| 5 | 不満 | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 110 |

| (2) わかりやすさ | 人数 | |
|------------|------------|-----|
| 1 | わかりやすい | 75 |
| 2 | まあまあわかりやすい | 34 |
| 3 | どちらでもない | 1 |
| 4 | あまりよく分からない | 0 |
| 5 | 全く分からない | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 110 |

| (4) 今後活かせるか | 人数 | |
|-------------|----------|-----|
| 1 | 活かせる | 49 |
| 2 | 部分的に活かせる | 56 |
| 3 | どちらでもない | 4 |
| 4 | あまり活かせない | 0 |
| 5 | 全く活かせない | 0 |
| 0 | 不明 | 1 |
| 合計 | | 110 |

4. ご意見・ご感想、今後、企画してほしい研修など

- ・ 今回の講義をきいて社会参加の支援に関わる上で今の自分の課題を見つける事が出来た。研究データの結果は非常に興味深く、楽しい話を聞かせていただく事が出来ました。
- ・ 自分の職務に対する意義をより感じる事が出来ました。通いの場が広げられるよう努力したいと思います。ありがとうございました。
- ・ 作業活動の楽しさを感じる事が出来ました。
- ・ 社会参加を促していく事の重要性を改めて確認する事が出来、大変参考になりました。
- ・ 今後さらに健康格差が広がるのだと感じた。低所得者が閉じこもらずに社会へ出れる仕組みが増えると良いですね。
- ・ 勉強になりましたが、行政・包括・NPO法人・新規参入を検討している団体の方に聞いてほしい内容だったと思います。
- ・ サ高住は小さな地域だと思っている。あまり関わりすぎないように麻雀の会や民謡の会、食事会などをアドバイスにとどめすすめている。適切なアドバイスの方法を学ぶ機会が欲しい

- ・ 地域リハ、サロン参加参考になりました。
- ・ 研修会をもっと増やしてほしい
- ・ 市民トリアージについて広まりつつあるが、在宅医療や介護で働く職員の役割など災害時の役割
- ・ ありがとうございます
- ・ サロン参加の重要性をデータを基に教えて頂いた。
- ・ サロン・ボランティアが多い安城では、ボランティア、コミュニケーション、リハビリステーション、社会参加促進が重要。
- ・ 概要から専門的な部分まで、とても勉強になる講演でした。サロンの在り方、これからの関わり方が明確になり、今後の在宅、地域への関わりにつなげていきたいです。
- ・ 医療－在宅のリハビリ連携について
- ・ 回復期病棟から退院していく患者さんの「地域での活動」という新たな視点を学ぶことができた。
- ・ その人らしい生活が送れるような支援を、病院→介護サービス→地域につなげていく重要性を感じた。
- ・ 本日もありがとうございました。
- ・ サロンに取り組む住民にとっても有益な情報と思います。

8月30日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

テーマ:虐待についての勉強会「和田行男氏 安城で語る」(グループホーム部会)

講師:和田 行男氏

※研修会の参加者 92名。アンケート回収 74名(回収率 80.4%)

1. 職種

| 職種No | 職種 | 人数 |
|------|---------|----|
| 1 | 医師 | 1 |
| 2 | 歯科医師 | 2 |
| 3 | 薬剤師 | 1 |
| 4 | 看護師 | 10 |
| 5 | 保健師 | 0 |
| 6 | 理学療法士 | 1 |
| 7 | 作業療法士 | 0 |
| 8 | 言語聴覚士 | 0 |
| 9 | 栄養士 | 0 |
| 10 | 歯科衛生士 | 0 |
| 11 | MSW | 1 |
| 12 | ケアマネジャー | 12 |
| 13 | 社会福祉士 | 6 |
| 14 | 介護福祉士 | 21 |
| 15 | ヘルパー | 11 |
| 16 | その他 | 9 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 75 |

2. 所属

| 所属No | 所属 | 人数 |
|------|------------|----|
| 1 | 病院 | 5 |
| 2 | 診療所 | 5 |
| 3 | 薬局 | 0 |
| 4 | 訪問看護ステーション | 2 |
| 5 | 老人保健施設 | 1 |
| 6 | 特別養護老人ホーム | 3 |
| 7 | 有料老人ホーム等 | 2 |
| 8 | 居宅介護支援事業所 | 6 |
| 9 | 地域包括支援センター | 9 |
| 10 | 在宅介護支援センター | 0 |
| 11 | 介護サービス事業者等 | 19 |
| 12 | その他 | 20 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 72 |

3. 研修の反応

| (1)わかりやすさ | | 人数 |
|-----------|------------|----|
| 1 | わかりやすい | 57 |
| 2 | まあまあわかりやすい | 17 |
| 3 | どちらでもない | 1 |
| 4 | あまりよく分からない | 0 |
| 5 | 全く分からない | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 75 |

| (3)今後に活かせるか | | 人数 |
|-------------|----------|----|
| 1 | 活かせる | 44 |
| 2 | 部分的に活かせる | 30 |
| 3 | どちらでもない | 1 |
| 4 | あまり活かせない | 0 |
| 5 | 全く活かせない | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 75 |

| (2)満足度 | | 人数 |
|--------|---------|----|
| 1 | 満足 | 43 |
| 2 | まあ満足 | 28 |
| 3 | どちらでもない | 2 |
| 4 | やや不満 | 1 |
| 5 | 不満 | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 74 |

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・倫理的感受性(医療・介護)について (理学療法士)
- ・認知症と食事 (ケアマネジャー)
- ・事例検討会 (ケアマネジャー)
- ・ごみ屋敷家庭への支援、引きこもり家庭へのアプローチ方法。(社会福祉士)
- ・個別ケアとは? (介護福祉士)
- ・医療知識を深めることができるような研修会に参加したい (介護福祉士)
- ・薬について。リスクマネジメントについて。(ヘルパー)
- ・利用者の心にふれる方法、遊び等コミュニケーションの話を聞きたいです。(その他)
- ・うまくいっている? GHの事例があったら教えてほしいです。GHのスタッフの方本人さんたちにご自分たちの良いところを教えて頂けたら勉強になります。とても大変だと思いますが、素晴らしいお仕事をされていると思うからです。(その他)

5. ご意見・ご感想等

- ・理解が深まりました。ありがとうございました。(歯科医師)
 - ・とてもためになるおもしろいお話でした。(看護師)
 - ・とてもひびいた講演でした。本当にありがとうございました。(理学療法士)
 - ・やっぱり和田さんのお話はおもしろかったです。企画お疲れ様でした。ありがとうございました。(社会福祉士)
 - ・日々の仕事姿勢を見直していこうと思いました。(介護福祉士)
 - ・どんな事でもしっかりと分別できるように勉強して現場にのぞみたい (介護福祉士)
 - ・本日、新たに、認知症、グループホームの事についてしっかり考えていこうと思いました。(ヘルパー)
 - ・認知症という一人の人間の見方が変わった (ヘルパー)
 - ・和田先生のお話しがわかりやすく、これからの現場に入っているいろいろといかしていけるようにして行こうと思いました。(ヘルパー)
 - ・ぜひ、来年も和田先生の講演がききたいです。(ヘルパー)
 - ・介護職が利用者様の人間らしさを左右する事を意識しました。(その他)
 - ・楽しかったです。(ヘルパー)
 - ・プライド持って働かせていただきたいと思いました。本日はありがとうございました。(その他)
 - ・GHIに入ること、本人も家族も助かっていること、たくさんあるのですが、もっと認められてほしいです。今日の先生はすばらしかったと思いますが、良いところをもっと教えてほしかったし、新しくGHで勤めたいと思えるお話も聞きたかったです。虐待がおきないように働く人がむくわれて生き活きとできるよう、先生には行政などに働きかけてほしいです。心の余裕がなければ同じことがくりかえされると思います。(その他)
-
- ・会場の空調が寒かった
 - ・マイクの調子なのか司会、あいさつがよく聞こえなかったです。特に司会の方がマイクから遠かったです。
 - ・2.所属欄に「社会福祉協議会」があると良いと思います(結構参加人数いるので・・・)
 - ・時間18:00～にしてほしいかな。(看護師)

9月7日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

テーマ:在宅服薬支援における多職種連携に関する研修会(薬剤師部会・ケアマネット部会)

講師:服部 宏明氏氏(あおい薬局)／発表者:木村 恵美氏(ケアサポート八千代)

※研修会の参加者82名。アンケート回収 62名(回収率75.6%)

1. 職種

| 職種No | 職種 | 人数 |
|------|---------|----|
| 1 | 医師 | 3 |
| 2 | 歯科医師 | 2 |
| 3 | 薬剤師 | 11 |
| 4 | 看護師 | 6 |
| 5 | 保健師 | 2 |
| 6 | 理学療法士 | 1 |
| 7 | 作業療法士 | 1 |
| 8 | 言語聴覚士 | 0 |
| 9 | 栄養士 | 0 |
| 10 | 歯科衛生士 | 0 |
| 11 | MSW | 0 |
| 12 | ケアマネジャー | 25 |
| 13 | 社会福祉士 | 3 |
| 14 | 介護福祉士 | 1 |
| 15 | ヘルパー | 3 |
| 16 | その他 | 4 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 62 |

2. 所属

| 所属No | 所属 | 人数 |
|------|------------|----|
| 1 | 病院 | 6 |
| 2 | 診療所 | 6 |
| 3 | 薬局 | 9 |
| 4 | 訪問看護ステーション | 3 |
| 5 | 老人保健施設 | 1 |
| 6 | 特別養護老人ホーム | 0 |
| 7 | 有料老人ホーム等 | 1 |
| 8 | 居宅介護支援事業所 | 25 |
| 9 | 地域包括支援センター | 2 |
| 10 | 在宅介護支援センター | 4 |
| 11 | 介護サービス事業者等 | 2 |
| 12 | その他 | 3 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 62 |

3. 研修の反応

| (1)わかりやすさ | 人数 | |
|-----------|------------|----|
| 1 | わかりやすい | 34 |
| 2 | まあまあわかりやすい | 26 |
| 3 | どちらでもない | 2 |
| 4 | あまりよく分からない | 0 |
| 5 | 全く分からない | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 62 |

| (3) 今後に活かせるか | 人数 | |
|--------------|----------|----|
| 1 | 活かせる | 43 |
| 2 | 部分的に活かせる | 17 |
| 3 | どちらでもない | 1 |
| 4 | あまり活かせない | 0 |
| 5 | 全く活かせない | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 61 |

| (2)満足度 | 人数 | |
|--------|---------|----|
| 1 | 満足 | 34 |
| 2 | まあ満足 | 25 |
| 3 | どちらでもない | 1 |
| 4 | やや不満 | 0 |
| 5 | 不満 | 0 |
| 0 | 不明 | 0 |
| 合計 | | 60 |

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 病院、診療所、薬局との連携の研修
- ・ 安城市の地域資源
- ・ 在宅HPNや在宅麻薬、麻薬注射の管理など、多職種で話し合えるといいなと思います。
- ・ 多職種によるグループワークができるような研修
- ・ リーダーシップについて
- ・ 事例検討、連携が上手いケースなど
- ・ サービス担当者会議の進行を多職種で協議
- ・ 次回も続編お願いします
- ・ 人材育成についての研修を開いて欲しいです

5. ご意見・ご感想等

- ・ 多くの方々の意見を伺えてよかったです！！
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 薬剤師さんの専門的なお話がきけて、とても勉強になりました。在宅で活躍してもらわないともったいないと思いました。
- ・ 薬剤師の方とお話する機会がなかなかなかったのですがいろいろな話が聞けてよかったです
- ・ 普段ふれない情報にたくさんふれさせて頂き、とても有意義でした。
- ・ 薬剤師の方と情報共有でき貴重な意見がきけました
- ・ 多職種の方が集まり、有意義なグループワークでした。ありがとうございました。
- ・ GWがとても活発で良かったです
- ・ 薬剤師さんの活用の必要性をとて感じた
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ もう少しグループワークの時間があればよかったと思います
- ・ もう少しグループワークの時間が欲しかったです
- ・ ありがとうございました。勉強になりました。
- ・ 出来る限り参加したいです

在宅医療に関するガイドブックの掲載項目について

1 不要と思う項目 (○をつけてください)

| | 不要 | 項目 | 理由 (簡単に) |
|---|----|----------------------------|---|
| 1 | ○ | 在宅医療と地域包括ケアシステム (イメージ図) | <p>よく見かけるイメージ図だが、一般の人は理解できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要ではないと思いますが、一般の人にはわかりにくいものになると思われるので、分かりやすい形でのイメージ図がないと理解が得られないと思います。 ・練馬区のガイドブックにはないものだが、安城市として「地域包括ケアの中で在宅医療を進める」という観点からは必要な項目。但し、「在宅医療とは」の中で説明できる項目ではある。そこで、「こんな悩み抱えていませんか？」のようなまとめ方でどうでしょうか？ |
| 2 | ○ | 医療機関の機能分担 | <ul style="list-style-type: none"> ・大方認識されていると思われる。 ・不要ではないですが、急性期病院からかかりつけ医への移行に結びつけるそれぞれの役割と必要性が分かる内容が必要だと思います。 |
| 3 | | 在宅医療を支えるメンバー紹介 (イメージ図) | <ul style="list-style-type: none"> ・練馬区のガイドブック (p 6) 「在宅医療を応援する、ケアのプロフェッショナル集団」のようなまとめ方でどうでしょうか？練馬区ではこの項目で、在宅療養と地域包括ケアシステムについても言及しています。 ・メンバー紹介のところで診療所や各事業所名が挙げられるものだと思います |

| | | |
|----|---------------------------|---|
| | | が、提供可能地域や時間帯の明記があると良い。 |
| 4 | 在宅医療 訪問診療 | |
| 5 | 訪問歯科診療 | |
| 6 | 訪問服薬指導 | |
| 7 | 訪問看護 | 医療保険・介護保険があり、利用する立場からは非常にわかりづらい。分かりやすく提示してほしい。 |
| 8 | 訪問リハビリ | 医療保険・介護保険があり、利用する立場からは非常にわかりづらい。分かりやすく提示してほしい。 |
| 9 | 相談窓口 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族は本人がどんな状態になったときに、誰に何を相談すればいいのか、具体的に記してもらえると分かり易いと思う。 ・地域包括支援センターの一覧を載せてほしい。 |
| 10 | 介護保険サービス | |
| 11 | 本人と家族へのアドバイス (リビングウィル) | <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスプランニングについては是非！！食べられなくなった時、点滴・胃ろうを希望するか、急変時、心肺蘇生を希望するか。エンディングノートの紹介。 ・リビングウィルの他、「在宅看取り」についても触れて欲しい。 |

2 追加したい項目

| 項目 | 理由（簡単に） | 該当項目 |
|-------------------------------------|---|--------------|
| 訪問栄養指導 | 在宅で調理に困っている方も多いため。 | |
| 看取り | 家主の承諾などトラブルが考えられる。 | |
| 自宅で最期を迎えたいと思うときの相談先。一連の流れ、イメージ図 | | 1 3 9 |
| 在宅医療とは | 練馬区では、「在宅療養ブック」の表紙裏面で在宅療養について説明しており、「在宅療養とは『住み慣れた自宅に・・・に来てもらって、医療と介護を受けながら療養生活を送ること』」、「『わが家で生きる』という選択肢について考えるきっかけとしていただくためにまとめました」とあり分かり易い。 | 1 |
| 具体的な事例 | イメージ図だけでは実際どのようなものか分かりにくい。 | |
| 体験記 | イメージがしやすくなると思います。 | |
| 居宅・ケアマネの役割 | 老老介護、認認介護をしている方は、行政手続きが困難で抱え込んでいる。代理の手続きをしてくれる人がいることを知ってほしい。 | 9 |
| ケアマネ、ホームヘルパー、通所、短期入所、施設入所（特養・GH・老健） | 「在宅医療～介護保険サービス」の説明に左記を追加して、療養に関連する専門職を網羅的に説明してはどうでしょうか？ | 10 |
| 在宅医療に関する費用と保険制度 | 費用や利用する保険（介護保険なのか医療保険なのか） | 7 8 10 |

| | | |
|---------------------------|---|---------|
| 要支援、要介護になった場合の流れ | 発病等で要支援・要介護になった場合の選択肢が解りやすく、流れになっていれば、少しは不安が減少すると思うため。 | 1 10 |
| 認知症介護 | 認知症外来や認知症カフェなど相談先があることを知って欲しい。 | |
| 項目の内容が町田市のようにわかりやすいほうが良い。 | 一般市民対象なので分かりやすい方が良く、興味を持っていただけると思います。 | |
| 練馬区のような形式 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般の人にわかりやすいと思います。 ・練馬区のガイドブックは大変よく出来ている。これでは分厚いということであれば、これをベースに徹底的に見直して、より良いコンパクトなガイドブックを目指してはどうでしょうか？ | |

平成29年度

安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書

部会名 (部会)

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| 検討テーマ | |
| 検討内容 | |
| 結果・方向性 など | |
| 検討回数・方法 | 会議 回 参加人数 延べ 人 電話 FAX メール その他 () |
| 備考 | |

平成29年度 研修予定 (講師等の都合により変更する場合があります)

平成29年9月21日現在

| 日 時 | 主催する部会 | 内 容 | 講 師 | 参加予定の部会 | 会 場 |
|--------------------|--|---|---|---|------------------|
| 7 月 22 日 土 13:30~ | 地域包括ケア市民フォーラム | 大人の『終活』新作法 ~いつか来る別れの日のために~ | 金子 稚子(かねこ わかこ)氏 ライフ・ターミナル・ネットワーク代表終活ジャーナリスト | 一般 | 文化センター マツバホール |
| 9 月 30 日 土 14:00~ | 認知症を知る講演会 ・講演「認知症とともに豊かに生きるために」 ・寸劇で知ろう認知症 | | ・武地 一氏 藤田保健衛生大学 認知症・高齢診療科教授 ・劇団サルビー見守り隊 | 一般 | 文化センター マツバホール |
| 1 月 13 日 土 14:00~ | 病院部会 医師会部会 | 多職種ワークショップ研修会 | | すべての部会 | 八千代病院 2F 大会議室 |
| 6 月 28 日 水 18:00~ | 施設部会 | アンガーマネジメント | 由宇未空氏(アイキャリア株式会社) | すべての部会 | 市民会館 大会議室 |
| 7 月 1 日 土 13:30~ | 医師会部会 | 安城市エンドオブライフ・ケア研修会 | 杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長 | すべての部会 (定員30人) | 医師会館 2F 大会議室 |
| 8 月 24 日 木 19:00~ | 訪問リハネット部会 | 「地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視したリハビリテーション」 | 竹田 徳則 氏 星城大学 リハビリテーション学部教授 | すべての部会 | アンフォーレ ホール |
| 8 月 30 日 水 19:00~ | グループホーム部会 | 虐待についての勉強会 | 和田 行男氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 |
| 9 月 7 日 木 18:30~ | 薬剤師会 ケアマネット部会 | 在宅服薬支援における多職種連携に関する研修会 | 講師/服部 宏明 氏(あおい薬局) 発表者/木村 恵美 氏(ケアサポート八千代) | すべての部会 | 市民会館 大会議室 |
| 9 月 23 日 土 10:00~ | 医師会部会 | 安城市エンドオブライフ・ケア研修会 | 杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長 | すべての部会 (定員30人) | 医師会館 2F 大会議室 |
| 9 月 27 日 水 14:00~ | デイネット部会 | 地域との事業所(施設)との関係づくりについて | アドバイザー/清水 隆幸 氏(八千代リハビリデイサービス彩管理者) | すべての部会 | 市民会館 大会議室 |
| 10 月 14 日 土 14:00~ | 医師会 ケアマネット部会 | 在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法 | 座長/岡本雅彦氏(アイムクリニック・安城) 木村 恵美氏(ケアサポート八千代) | すべての部会 | 八千代病院 大会議室 |
| 10 月 19 日 木 15:30~ | 歯科医師会 | 口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」 | 板倉 直美 氏、中村 尚美 氏 (公益社団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部) | すべての部会 (定員40人) | 総合福祉センター 会議室3 |
| 11 月 14 日 火 14:00~ | 保健福祉部会 | 住民による移動支援 | 遠山 哲夫氏 NPO法人移動ネットあいち理事長 | すべての部会 | 社会福祉会館 2F講座室 |
| 12 月 14 日 木 14:00~ | 保健福祉部会 | 精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機関との連携、具体的なアプローチ方法について) | 相談支援事業所ひだまり コーディネーター | すべての部会 | 市民会館 大会議室 |
| 1 月 日 | ヘルパーネット部会 | うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の基礎知識 | | すべての部会 | |
| 2 月 日 | グループホーム部会 | 薬の副作用・薬を減らすための取組についての勉強会 | 医師会・薬剤師会 | すべての部会 | |
| 2 月 19 日 金 18:00~ | 訪問看護 ネットワーク部会 | 訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会 | | ケアマネット部会 | 市民会館 大会議室 |
| | 訪問リハネット部会 | 事例検討会 | 急性期・回復期・生活期リハを体験したセラピストを招いて、それぞれの時期のリハビリテーションについて考える。 | リハネット | |
| | 訪問看護 ネットワーク部会 | 事例検討会 | | 医師会 (検討事例に関する薬剤師、 ケアマネ等に個別に参加 依頼をする) | 医師会館 |
| 4 月 | 歯科医師会部会 | 嚥下訓練と連携について | 藤田保健衛生大学病院歯科口腔外科 中川量晴氏 | 歯科医師会 | 商工会議所 |